

SDGsは、良いまちに向かうためのみちしるべ。市内のSDGsの取組を、SDGsに取り組む方の「顔」が見える形でお届けします！

今号のSDGs目標番号



vol+2. 『自然をまもる！』SDGs
 自然をまもることは大切だと分かっているも「具体的な対策」って何をしたらいいのでしょうか？
 まずはこのページを読んで、知ることからスタート！

軽い・強い・環境にやさしい。「ペーパーコア」の可能性を生かしたい。
ナゴヤ芯材工業株式会社

株式会社トコンの子会社として1978年に設立され、建材用のペーパーコアの製造販売を行っています。

会社の取組や想いについて、加藤常務取締役にお話を伺いました。

— ペーパーコアとは何ですか —

戸建て住宅やマンションのドアや家具の中に使われる芯材です。ホワイトボードにもペーパーコアが入っています。壊さないと見えないですけど（笑）。古紙100%の芯材で、強度も十分に保てるので、森林保護の観点からも芯材を入れたほうが良いと考えています。我々の製品や加工技術を使い、建材分野以外の商品開発を行っていきたいです。

— 地域のイベントにも積極的に参加されていますね —

誰の目にもつかない製品なので、まずは知ってもらうことが大事かなと。技術を守るため、昔は工場に外部の人が入れませんでしたが、会社の品質向上のために、今は工場も見えていただいています。

みんなが思いやりのあるメンバーで、すぐく助け合いながら働いています。



社員の野田さん 加藤常務取締役
 介ペーパーコアと一緒にポーズ！



美しい『酸素の製造工場』を守り続けたい。
愛林会

2004年から、小牧市東部の桃花台地区で環境保全活動を行う市民活動団体。この活動が最高に楽しいと、代表の鳥居さんが笑顔満開でインタビューに答えてくれました。

— どんな活動をされていますか？ —

竹林整備や、ギフチョウの放蝶活動、アサギマダラの誘致活動を行っています。放蝶活動では、卵から孵した蝶を里山に放ち、蝶が住めるような環境の整備をしています。また、活動区域にユウスゲやアザミという貴重な野草があることが分かり、野草園も作りたなど。夢はいっぱいあるんです（笑）。他にも、長年、光ヶ丘中学校の生徒たちに地域貢献活動として、ボランティアで活動に参加してもらっています。

— 鳥居さんが活動を続ける目的は何ですか —

『酸素の製造工場』をぼくらが守る。これを目的に活動しています。人工的に作られた環境ではなく、自然の美しさってやっぱりある。それを守りたいなど。壊すのは簡単でしょ？



自然が大好きだと語る鳥居さん

人ごとしないで、自然や資源を大切にしてほしい！
小牧市立光ヶ丘小学校 児の森クラブ

環境保護活動を行う市民活動団体・ちどりんの里山協力のもと行われているクラブ活動。昨年、コロナ禍を乗り越え活動を再開したメンバー8人が、今回インタビューに答えてくれました。

— 活動について —

「楽しそうだから」という理由で入った児童がほとんど。昨年は全4回行われ、力が必要で大変だったけれどノコギリを初めて使った除伐体験など、どの活動も楽しかったそうです。「森にゴミとかいっぱい捨てられたら嫌だし、またいっぱい遊びたい」と、この活動がずっと続いてほしいと全員が思っていました。

— 自然を守るために自分たちができること —

「木を植えること」と真っ先に意見があがり、その後も「一人一人がポイ捨てをしないこと」「木で作った紙などをちよっと使ってポイッとしないこと」と続きました。「木がなくなったら、酸素が減って死ぬと思う。CO₂が増えて地球温暖化になる」と、森林を大切にする理由も話してくれました。



インタビューに頑張って答えてくれた8人！



もっと詳しいインタビュー内容や、kaomikについては右のQRよりご覧ください！



「住み続けたい・働きたい」そんなまちの実現を目指して— kaomik (カオミク) は、SDGsの視点から『こまきの人の魅力』を中高生に伝えるフリーマガジンです。お互いを知り、つながることができるきっかけとなれるような素敵な情報を、小牧市内外を問わず広くお届けします。